

令和6年度 テクノ保育園の園評価

1. 強み

- 子ども主体の保育が定着し、応答的な対応や子どもの考え・意見を尊重する姿勢が全職員に浸透している。
- クラス間やチーム間での連携・サポートが的確に行われ、全体の保育品質向上につながっている。
- 保護者とのコミュニケーションや声掛け、日々の情報共有が適切に行われている。
- 笑顔や雰囲気づくりなど、職場環境の改善に向けた行動が積極的に見られる。

2. 課題

- 時間配分や計画性の部分で改善の余地があり、一部で業務の遅れや負担の偏りが見られる。
- 緊急時やクレーム対応の場面において、対応の一貫性や迅速さが更に求められる。
- 部下や同僚への指示・指導後のフォローや検証が不十分なケースがある。
- 経営面や園の方針の理解度に職員間で差があり、共有体制の強化が必要。

3. 今後の取組方針

- 全職員が計画的に業務を進められるよう、時間管理やタスク分担の工夫を行う。
- 緊急時対応マニュアルやクレーム対応手順を再確認し、全員で共有・訓練を行う。
- 指示・指導後のフォローを徹底し、成果や課題を共有して改善を図る。
- 法人方針や経営状況の理解を深めるため、定期的な情報共有会議を実施する。

4. 総評

当園は子ども主体の保育と職員同士の連携において高い成果を挙げていることが確認できました。一方で、時間管理や計画性、緊急時対応など一部の業務面に改善の余地があります。今後も職員一人ひとりが主体的に動き、園全体で協力しながら、子どもたちと保護者の皆様にとってより安心で充実した園生活を提供できるよう努めてまいります。